
<学内での活動>

- 1 研究委員会 委員
- 2 紀要委員会 委員
- 3 システム委員会 委員
- 4 体験拡張表現プロジェクト 研究分担者
- 5 プロジェクト実習発表会実行委員会 委員

<学会発表・学術論文・書籍>

1 質感科学ハンドブック

第4章 生活の中の質感 第1節 テキスタイルの質感を担当。

飛谷謙介, 山崎陽一, 長田典子 (2025) 第4章 生活の中の質感 第1節 テキスタイルの質感.
小松英彦, 富永昌二, 西田眞也 (編), 質感科学ハンドブック, pp. 210-216, 東京大学出版会,
ISBN978-4-13-060325-6

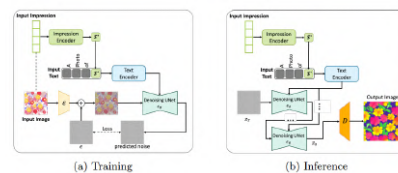
2 “Generation of Clothing Patterns Based on Impressions
Using Stable Diffusion”

10th International Congress on Information and Communication
Technology (ICICT2025) にて発表。

J N Htoi Sann Ja, Kaede Shiohara, Toshihiko Yamasaki, Miyuki Toga, Kensuke Tobitani,
and Noriko Nagata (2025) Generation of Clothing Patterns Based on Impressions Using
Stable Diffusion. Proc. the 10th International Congress on Information and
Communication Technology (ICICT2025), Springer, pp.??-??. (出版前)



質感科学ハンドブック



<学会発表・学術論文・書籍> 2 における提案手法の概念図

<講演>

1 滋賀大学での講演 (2024 年 6 月 28 日)

滋賀大学データサイエンス・AI イノベーション研究推進センター、データサイエンスセミナーにおいて講演。

2 愛知県立芸術大学での講演 (2024 年 11 月 6 日)

愛知県立芸術大学の全学 FD 研修において、「人工知能と芸術表現」に関する内容を講演。

<展示・パフォーマンス>

1 Mid Japan Sound Complex Art Festival 2024「表現の多様性を感じる時」 (2024年9月1日)

Mid Japan Sound Complex Art Festival 2024にて、福島諭、鈴木悦久とのユニット(Mimiz)で発表。<https://midjapan.studio.site/>

2 《Radio Subvisualize Prompter》(2024年11月29日-12月11日)

アート&デザインコレクティブ glowによる展覧会「glow-in practice」にて発表。横山徹、赤羽亨との合作。<https://glow-collective.org/in-practice/>

3 VRアーカイブビューワー プロジェクト (2024年11月29日-12月11日)

- 鑑賞者主観情報と時空間データによるVRアーカイブシステムの開発 -
アート&デザインコレクティブ glowによる展覧会「glow-in practice」にて発表。科学研究費助成事業「鑑賞者主観情報と時空間データによるVRアーカイブシステムの開発」(研究代表者:愛知県立芸術大学 池田泰教 准教授)における研究成果。<https://glow-collective.org/in-practice/>



Mid Japan Sound Complex Art Festival 2024



《Radio Subvisualize Prompter》撮影:丸尾隆一



VRアーカイブビューワー 撮影:丸尾隆一

<共同研究>

1 科学研究費助成事業

「鑑賞者主観情報と時空間データによるVRアーカイブシステムの開発」

展示空間の客観的事象および主観的視聴覚情報をVR空間上に再現する芸術作品記録手法の開発を目的とし、今年度は昨年度開発した3Dデータレコーダ/VRデータビューワーを高精度化し、複数回の小規模実験と検証を行った。

研究代表者:池田 泰教 愛知県立芸術大学, 美術学部, 准教授
<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-23K00238/>

2 科学研究費助成事業

「感性個人差指標 Affect-X の構築とビスポーク AI サービスの基盤確立」

個々人に固有な感性的特性を表現可能とする新しい感性個人差指標 Affect-X の構築とともに、指標を再現性良く計るための意識的・無意識的な心的状態の計測・推定技術の開発を目的とし、今年度は布柄質感における認知機序に基づいた画像生成手法の開発に従事。

研究代表者:長田 典子 関西学院大学, 工学部, 教授
<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-23K24936/>



<共同研究>1のデータ取得実験の様子

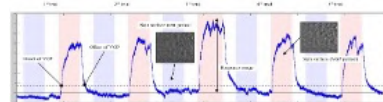
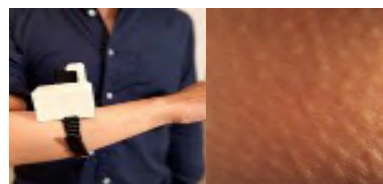
3 科学研究費助成事業

「精神性立毛反応の生起に関わる神経基盤の解明」

精神性立毛反応の制御中枢を特定し、次に精神性立毛に中心的に関与する神経活動を解明することを目的とし、今年度は、昨年度までに開発した立毛計測系の高精度化に従事。

研究代表者: 片平 建史 早稲田大学, 文学学術院, 准教授

<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-21K12101/>



＜共同研究＞3における計測用機材と解析値

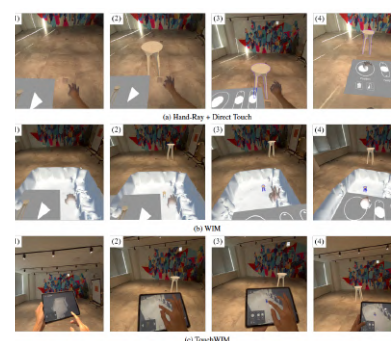
4 岐阜県 DX 推進コンソーシアム ワーキンググループ補助事業

「生成 AI による経営コンサル支援基盤の構築と検証」

岐阜県 DX 推進コンソーシアムにおける生成 AI ワーキンググループによる補助事業に参画。

5 “TouchWIM: Object Manipulation in AR Spatial Design with World in Miniature and Hybrid User Interface”

今谷真太郎（株式会社マープル）、赤羽亨（IAMAS）との共同研究。拡張現実感(AR)を用いた空間デザインにおいて、物体操作の効率化と作業負荷の軽減を目的として、World in Miniature(WIM)と Hybrid User Interface(HUI)を組み合わせた新しいインタラクション手法である TouchWIM を提案。実験デザイン立案、データ解析に従事。現在 IEEE Access に投稿中。



＜共同研究＞5における提案手法

6 その他1企業、3大学との共同研究を実施 (confidential)

＜学会運営＞

- 1 ACM Multimedia 2024 Program Committee
- 2 ビジョン技術の実利用ワークショップ 2024 (ViEW2024) プログラム委員会
- 3 動的画像処理実利用化ワークショップ 2025 (DIA2025) プログラム委員会
- 4 日本顔学会 理事補佐
- 5 精密工学会 画像応用技術専門委員会

＜その他＞

- 1 作曲家・サクソ奏者 濱地潤一作品の演奏・録音・撮影・編集（2024年12月15日-12月18日）

作曲家・サクソ奏者の濱地潤一の新作を、作曲家福島諭と演奏、録音、撮影、編集を行った。



＜その他＞1における録音の様子